

まちづくりワークショップ成果報告書

研究日時 平成20年2月24日（日）

13:30～16:00

場 所 総合体育館研修室

1 グループ名 みどり環境グループA

2 研究成果 別紙のとおり

3 グループメンバー

(1) 公募住民（6名）

井上悦子 川田千春 川出泰一 君島孝信 高木美穂 森谷等

(2) 準備委員（5名）

濱砂豊子（ファシリテータ） 田村博一 村上久美子

金谷浩 井田和宏

(3) 職員（1名）

江原義夫（みどり公園係）



みどり環境グループA

※ タイトル右欄の数字は、相互評価ポイント

① ゴミの分別収集をしよう 0P

ゴミ分別を
しっかり

② ゴミの不法投棄をなくそう 8P

竹間沢地区におい
ては小さな鳥居を
作ったところ不法
投棄が減った

関越道側道(畑、林)
への大量の不法投
棄をどの様にへら
すのか考えたい。特
に土、日に多い

③ ゴミの再利用をすすめよう 12P

生ごみのたい
肥化

ゴミ発電のため
の分別収集の
再検討

雑木林がなぜ?減
っていくのか町の
人たちにわかって
もらいたい

自転車で走るとち
よっと遠出するとい
つも林が消えている

⑤ 街並みにみどりを！(街路樹を整備しよう) 13P

ふる里の植物
や樹を増やし
てほしい

街路樹・公園の樹
や植物はその土
地に生えている樹
木にしてほしい

景観の保全
(特に街並みの
整備)

街路樹の正しい
管理
・形がヘン?
・落葉前にせん
定されてる?

自分の近くに花や
木を植えたい場所
をみんなに言う

⑥ 森を守ろう 14P

森をよみがえら
せる
雑木林の中に散
歩道を作る(地主
との交渉のうえ)

散策道を貸して
くれた森は市民
が手入れをす
る

竹林も手入れの
されていないも
のが多く目につく

山掃きを誘って
いただければい
つでも手伝いた
いけど

町の保存林につ
いて
定期的に適正な手
入れ(維持、管理)が
行なわれないもの
か。(林がきれいにな
ると不法投棄しづ
らくなる)

野鳥や生き物が
減っている

萌芽更新に
踏み出す

⑦ 森を活用しよう 9P

雑木林でア
スレチック

三芳の木の
活用を考え
るナラ、クヌ
ギ等

まきの活用

たき火を楽し
もう

防風林があっ
たらいいな

⑧ 子どもの環境教育推進 12P

どこかの幼稚園で落葉のプールをやっていた。林で子供を遊ばせる方法はない？

子供のヤマはき体験

食の安全
次の世代を担う子供達がもっと農産物の育成にかかわれるような機会作りを

子供たちと
いっしょに
草花を植
えたい

三芳町(北永井・上富)「自然博物館」
たとえば史跡体験農場、花畑、アスレチック等拠点を作って一日中歩いて楽しめるように

食育
種まき、管理収穫まで

竹細工
職人がいない

⑨ 自然をいかした公園をつくろう 30P

公園に植える樹木は、記念樹等の応募にしたらどうか

町のシンボルとなる公園がほしい。(遊具や建物は必要最小限にして自然をメインテーマに)

天然芝の広いスペースがほしい。(病虫害に強く手入れのやさしい新種が出来ていると聞く)

学校の校庭以外でも子供がボール遊びや寝ころべる公園があるといいな

大きな公園がない
木で遊べる所がない(近くに)

⑩ 安全、清潔な公園にしよう 6P

不審者、浮浪者のいない安全で清潔な公園

犬、猫、人間の排泄物のない安全で清潔な公園・歩道のある町

非行少年がたまらないような明るい公園づくり

⑪ 楽しく利用する公園にしよう 6P

公園・人が集まる公園
公園をマップ化し散策できる形を作る

近くに公園があってラジオ体操を近所の人としたい。来ないと風邪かな？どうしたかな